



# 確かな学力の向上をめざして【1月】

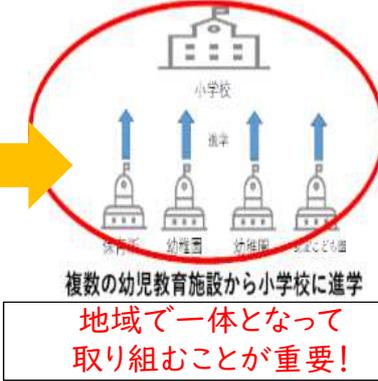
## 幼保小の架け橋プログラムの目指すもの

文部科学省は、**すべての子どもに学びや生活の基盤を保障**するため、5歳（年長）～小1の2年間で「**架け橋期**」と位置づけました。**自治体のリーダーシップ**のもとでカリキュラム開発会議を設置する等、**体制を整え**、架け橋期にふさわしいカリキュラムを作成・評価することで、**教育の充実・改善**を目指します。

### 幼保小の接続の改善のポイント

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月	2年
実施単位	施設単位	地域単位

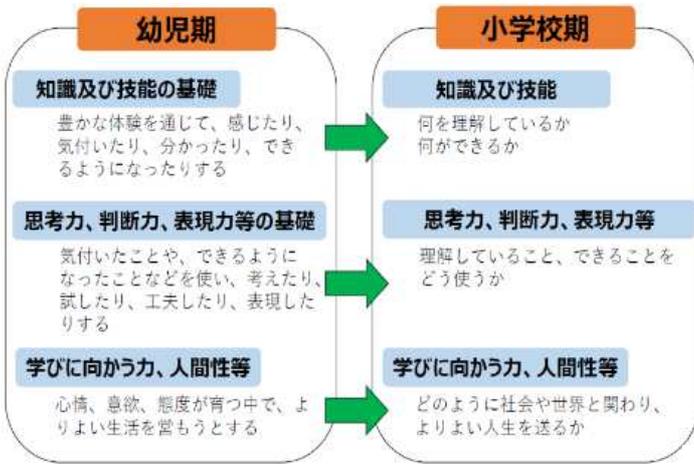
令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）資料



**Point**

架け橋プログラムの実現は園と小が協働して「架け橋期のカリキュラム」を作成することが鍵！

## 幼児期から小学校期において育む資質・能力でつなぐ



令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）資料

小学校では、生活科を中心とした各教科等の総合的・関連的な指導を工夫していきます。また、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」が小学校の各教科等の活動や育成すべき資質・能力等にどうつながっていくのかについて、園と小学校の教職員が**対話**しながら相互に対応させる方法を考え、**カリキュラムという形で可視化し、共有していく**ことが、それぞれの教育について理解を深めることにつながります。



資質・能力で考えると育てたい力のつながりが明確になるね！

### 実際の子どもの姿から・・・

**《虫を見つけたよ》園**

これはバッタかな。あの虫の本を見よう。

ココロぎってどこにいるのかな。バッタは草むらでとんでたよね。

あの花壇の方にいたかも。

カマキリの手の動きってこうだね。かっこいいよね。

バッタって何を食べるのかな。調べてみよう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 → 各教科で育む資質・能力へ

**小学校**

◆**自然との関わり・生命尊重**  
 ・動植物や身近な自然に触れ、育つ場所や環境づくりに興味をもつ。  
 ・世話や成長に関心を持ち、愛着をもって大切に育てる。

◆**社会生活との関わり**  
 ・学校で学習する内容と自分の生活を結び付けて、学習や生活に必要な情報を調べたり活用したりする。

◆**協同性**  
 ・友達とアイデアを出し合い、協力してやり遂げる。

◆**豊かな感性と表現**  
 ・絵や図、言葉や文で自分の思いや感じたことを表現する。

【生活科】（単元名）  
げんきにそだてわたしのはな

〇〇園で育てた野菜みたいに乗っばがギザギザしてるよ。

大きくなるように、水をあげよう。

太陽がたくさんあたるころにおいてあげよう。

令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）資料 かけがえ型育ちと学びのジョイントブックより

遊びの中で見取れる子どもたちの学びや成長を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通して整理！

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、園での学びを小学校の学びにつなげる！

# 幼保小連携・接続のさらなる推進に向けて

スタートカリキュラムの変遷



「教室の窓 低学年版(東京書籍)」より引用(一部加工)

## スタートカリキュラムの再構築を!(3rdへ発展を)

再構築のポイントは・・・

- ① 入学してくる子どもたちは、今までの経験でたくさんの知識や技能を獲得していることを小学校教員が理解する。
- ② 子どもたちに知識を押し付けない、否定しない。意欲が高まるのを待つことが大切。
- ③ 丁寧すぎない指導を心がける。

参考:令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業(中央協議会)講師資料

子どもたちの考えや意見をよく聞いて、子どもたちとともに小学校生活を作り出していきましょう。



## スタートカリキュラムの意義を園や保護者へ伝える!

- ★1年生担任だけでなく、校内で共有しましょう。
- ★就学時健診、入学説明会等で園や保護者に説明してみましょう。

例



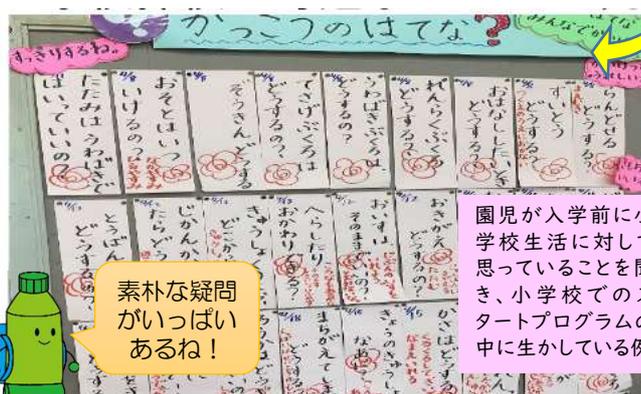
校長先生が保護者へ入学説明をしているところ

- ・1年担任、校長が就学時健診や入学説明会でカリキュラムの内容について説明する。
- ・「入学のしおり」を園にも渡し、園からの意見を踏まえて改善する。
- ・1年担任が年度当初の学年だよりでカリキュラムの内容を説明する。

参考:令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業(中央協議会)講師資料より

## 体験入学等の工夫をしてみましょう!

入学前の園児が小学校入学に対して期待する気持ちや疑問に思うことを前もって把握し、入学後の活動にひと工夫をしてみましょう。



参考:令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業(中央協議会)講師資料より

## 次年度の幼保小接続について見通しのある計画を立てましょう!

- ★互惠性のある交流を計画しましょう。(反省を含めた計画を)
- ★幼保小合同研修会の内容の充実を図りましょう。(授業参観、保育参観後合同研を行うなど)

公開保育を小学校教員が参観



公開保育参観後、育てたい資質・能力を基に園・学校が協働で話し合い



参考:令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業(中央協議会)講師資料より

## 引継ぎ会等の内容を工夫しましょう!

- ★配慮の必要な子どもの実態把握に加えて、集団の中での育ち、集団の育ち等も引継ぎましょう。
- ★要録には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に照らして、その子が最も成長してきたことが書かれています。一人一人の育ってきた姿の実態を知っていきましょう。そして、入学後、一人一人が輝く学級経営、学習になるよう生かしていきましょう。

今までの取組を大切にして、さらに幼保小連携を深めていきましょう。



中部教育局